

シュアティに満ちた社会づくりに貢献する
「気つき」と「実践力」！

防災介助士

資格取得講座

2011年
9月1日
受講開始!

先行予約受付中
(特典あり)

防災介助士 (シュアリング ケア フィッター) は、いつも人々が安心して暮らせるシュアティ (Surety) に満ちた社会づくりに貢献する人々のための資格です。災害に対応する防災の専門的な知識・方法と、高齢者・障がい者をはじめとするすべての人に対する「おもてなしの心」と介助技術を、体験しながら学ぶことで、さまざまな状況下で適切に対応できる実践力を身につけます。

平常時から地震などの災害時まで、多様な場面で活躍できる企業やコミュニティのリーダーを育成する上で大いに役立つ資格です。

講座の特色

様々な状況下で適切に対応できる実践力を「専門知識体系」「実務経験」「姿勢・資質・倫理観」がもたらす総合力と位置づけ、これらを講座内で具体的に展開しています。

- **専門知識体系の習得** ▶ 「防災」と「介助」およびその組み合わせである「防災介助」を体系的に学べるテキスト・映像教材を使用し、専門性の高い知識を身につけます。
- **実務経験の体得** ▶ 災害疑似体験、高齢者疑似体験などの体験型プログラムを通し、日常生活では経験することのできない「気つき」を導き、平常時にも災害時にも主体的に活動するための経験を積みみます。
- **資質・姿勢・倫理観の会得** ▶ 講座を通してコミュニティや組織に対するリーダーシップ力を養うことにより、防災や介助の社会的価値を実現するための資質と姿勢、そして倫理観を会得します。

● シュアティ (Surety) とは

近年の大規模化する自然災害や現代の社会的な要因による人為災害の連続、あるいは米国の同時多発テロの発生などに対し、「通常の環境における信頼性」「異常時における安全性」「テロなど人間の悪意に対するセキュリティ」を包括する概念として米国サンディア国立研究所により提唱されました。

講座の概要

◆ 受講期間

お申し込みから最長12か月以内です (課題提出6か月以内、延長制度あり)。

◆ 学習内容

「シュアリング防災編」「サービス介助編」の2種類のテキストと映像教材 (DVD) による自宅学習を行い、課題を提出します。

課題合格後に2日間の実技教習を受講し、検定試験を受験します。

※別途、社会貢献事業財団資格審査委員会の審査基準による、学習内容の一部免除規定があります。

※一定の運動量を伴うカリキュラムがありますので、健康状態に不安のある方はお申し込み前にご相談ください (妊娠中の方は受講できません)。

◆ 防災介助士認定証

検定試験合格者は防災介助士の登録申請をします。申請には、消防署、日本赤十字社などが主催する救急救命講習を受講した「救命技能認定証」が必要です。登録後に認定証が授与されます。

(救急救命講習は、各実施機関に直接申し込んで別途受講してください。)

受験申し込みは



一般財団法人 社会貢献事業財団のホームページからお申し込みください。
<http://www.fsoco.org>

お問い合わせは



一般財団法人 社会貢献事業財団 防災介助士推進事業局
TEL: 03-3513-0966 FAX: 03-3513-0967 E-mail: contact@fsoco.org

テキストの主な内容

[シュアリング防災編]

- 第1部 防災介助エントリー
- 第2部 防災介助士としてのシュアリング防災思考
- 第3部 平常時からのシュアリング防災
- 第4部 災害時におけるシュアリング防災
- 第5部 関連法規および制度

[サービス介助編]

- 第1部 防災介助エントリー
- 第2部 防災介助士としてのサービス介助思考
- 第3部 平常時からのサービス介助
- 第4部 災害時におけるサービス介助
- 第5部 関連法規および制度

映像教材 (DVD) の特徴

「災害対応循環体系」(右図)にそって、地震・津波・風水害・火山・火災・伝染病などの災害の実例ごとに、災害発生前から復旧・復興、防災までの一連の流れを学べる構成になっています。



教材セット

また「災害対応循環体系」の各局面について、さまざまな災害のケースを横断的に学ぶこともできます。

実技教習カリキュラム (一般)

防災介助編 (1日目)		防災介助編 (2日目)
オリエンテーション	9:30	シュアリング
ホスピタリティ、コミュニケーション ノーマライゼーション、パースペクティブ	10:00	LCM、BCM
高齢者のイメージ	11:00	災害の理解
高齢者疑似体験 (昼食時間含む)	12:00	自然災害疑似体験 (地震→火災→水害)
感想発表	13:00	救出・避難疑似体験
ジェロントロジー、介助の心構え	14:00	疑似避難所体験 (昼食時間含む)
接遇	15:00	災害発生前 防災・準備 (知識の確認・技術)
車いす使用者への介助	16:00	災害発生後 災害弱者、救出、救護 (知識の確認・技術)
視覚障がい者への介助	17:00	ロールプレイ
聴覚障がい者への介助	18:00	意見交換・まとめ
障がい者への自立支援		検定試験

※社会貢献事業財団資格審査委員会の審査基準により、学習内容の一部免除をされた方(サービス介助士2級資格取得者など)向けの1日コースもあります。

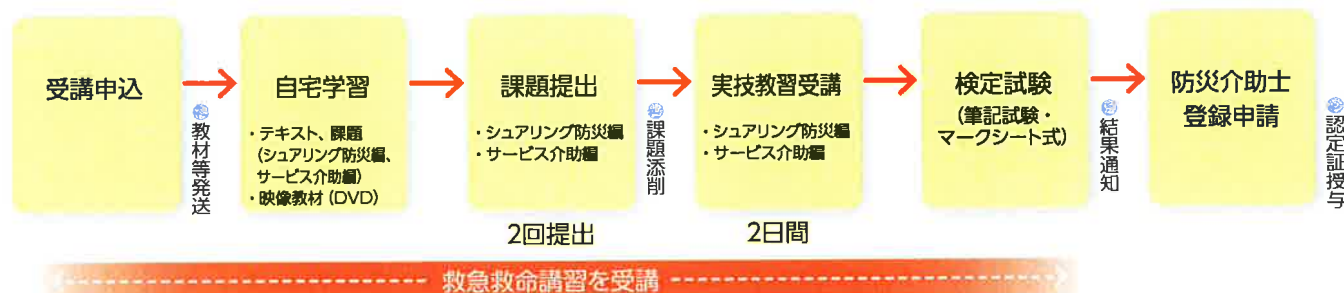
受講料 (予定価格)

一般受講者 57,750円(税込)

(サービス介助士2級取得者など学習内容一部免除の方は別途お問い合わせください。)

防災介助士資格の登録有効期間は3年間です。有効期間内に別途定める資格継続規定に基づき更新登録要件を満たした後、更新手続きをすませてください(別途費用が必要となります)。

受講の流れ



救急救命講習を受講

(消防署、日本赤十字社など)

救急救命講習の受講は、検定試験受験後でも結構です。すでに救急救命講習を修了されている方でも、防災介助士資格の登録申請時に救命技能認定証の有効期限を超過している場合は再受講が必要です。

■防災介助士資格に関するお問い合わせ先



一般財団法人
社会貢献事業財団
The Foundation for Social Contribution

一般財団法人 社会貢献事業財団 防災介助士推進事務局

〒162-0846 東京都新宿区市谷左内町5番地8

TEL: 03-3513-0966 FAX: 03-3513-0967

E-mail: contact@fsoco.org ホームページ: <http://www.fsoco.org>